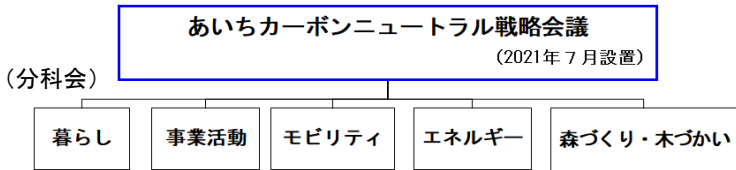
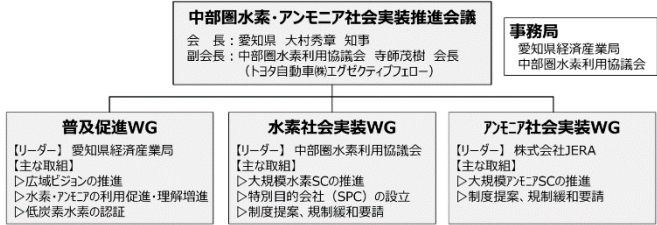
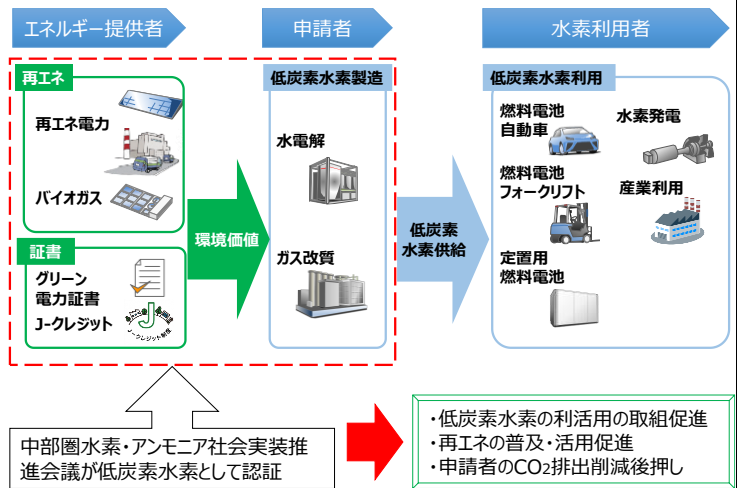


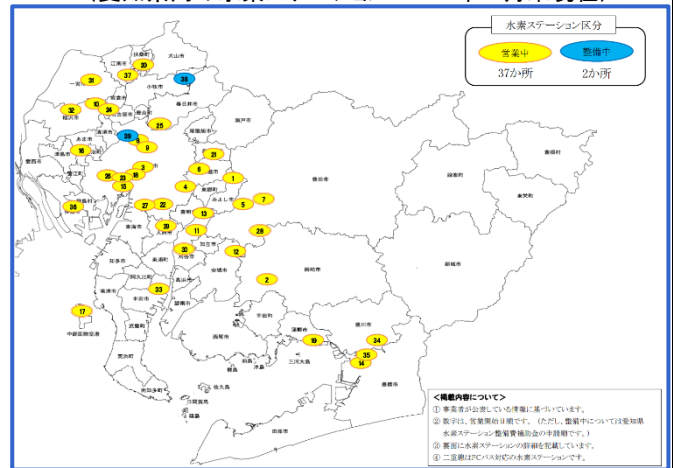
地方公共団体名	愛知県
所属部局 担当者名	環境局地球温暖化対策課活動支援 G 主査 北川陵太郎
地域の抱える 課題	<p><b>【環境・脱炭素に関する課題】</b> 環境と経済が相反するのではなく、好循環し「デカップリング」を加速する社会を構築すること。</p> <p><b>【同時解決したい地域の課題】</b> 民間の力を活用して、従来の延長線上にはない革新的なイノベーション、ブレークスルーを引き起こし、エネルギーや産業構造の変革につなげること。</p>
地域のありたい 未来	全国からグリーン分野の投資を呼び込み、革新的で独創的な愛知発の脱炭素プロジェクトの創出
事業の概要	<p>○脱炭素プロジェクトの創出・支援</p> <p>2021年6月から、全国の民間企業・団体を対象にカーボンニュートラルに資する事業・企画アイデアの募集を実施している。提案されたアイデアの中から、事業化すべきプロジェクトを、学識者からなる「あいちカーボンニュートラル戦略会議」で選定し、事業化の支援を実施している。</p> <div style="text-align: center;">  <p>あいちカーボンニュートラル戦略会議 (2021年7月設置)</p> <p>(分科会)</p> <p>暮らし 事業活動 モビリティ エネルギー 森づくり・木づかい</p> </div> <p>(参照 URL：カーボンニュートラルの事業・企画アイデア募集) <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/carbonneutralidea.html">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/carbonneutralidea.html</a></p> <p>○水素社会の構築</p> <p>・中部圏（岐阜県・愛知県・三重県）の取組</p> <p>2022年2月に中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議を地元自治体や経済団体等により設立し、水素・アンモニアの社会実装に向けた取組を中部圏が一体となって推進している。2023年3月には、中部圏水素・アンモニアサプライチェーンビジョンを策定している。</p> <div style="text-align: center;">  <p>中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議 会長：愛知県 大村秀章 知事 副会長：中部圏水素利用協議会 寺師茂樹 会長 (トヨタ自動車㈱エグゼクティブフェロー)</p> <p>事務局 愛知県経済産業局 中部圏水素利用協議会</p> <p>普及促進WG 【リーダー】 愛知県経済産業局 【主な取組】 ▷広域ビジョンの推進 ▷水素・アンモニアの利用促進・理解増進 ▷低炭素水素の認証</p> <p>水素社会実装WG 【リーダー】 中部圏水素利用協議会 【主な取組】 ▷大規模水素SCの推進 ▷特別目的会社（SPC）の設立 ▷制度提案、規制緩和要請</p> <p>アンモニア社会実装WG 【リーダー】 株式会社JERA 【主な取組】 ▷大規模アンモニアFSCの推進 ▷制度提案、規制緩和要請</p> </div> <p>(参照 URL：中部圏水素・アンモニアサプライチェーンビジョン) <a href="https://www.pref.aichi.jp/press-release/suiso-fcv/chubu-vision.html">https://www.pref.aichi.jp/press-release/suiso-fcv/chubu-vision.html</a></p> <p>・低炭素水素サプライチェーンの構築</p>

2018年4月に、全国に先駆けて、製造・輸送・利用に伴うCO<sub>2</sub>の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する「低炭素水素認証制度」を制定し、これまでに6件のプロジェクトを認定している。2023年4月からは、中部圏が一体となって取り組むこととし、認証制度の対象範囲を愛知県内から中部圏に拡大し、中部圏で低炭素水素サプライチェーンの構築を促進している。



・水素利用の拡大  
FCV、FCバス、FCフォークリフトの購入や水素ステーションの設置に対する補助を行うとともに、産学行政連携による共同研究開発などによる技術開発を推進している。

(愛知県内の水素ステーション・2023年3月末現在)



企業に求めたい内容

(キーワード)  
脱炭素プロジェクト、低炭素水素サプライチェーン構築、運輸部門FC化

- ・愛知県の地域資源を活用した脱炭素プロジェクトのアイデア (特に分野は問いません。)
- ・低炭素水素サプライチェーンの構築に資する、水素の製造、運搬、利活用等に関する事業
- ・運輸部門の脱炭素化に資する FC モビリティの導入に関する事業